

産地生産基盤パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施地区数 (ア)	評価対象外地区数 (イ)	評価対象地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 ※	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】 評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
北海道	35	0	35	64.3	15	有	15	令和4年度に評価対象の地区は35地区あり、北海道の平均達成率は64.3%であった。 成果目標達成率90%未満の地区は15地区あり、その主な要因は天候不順(豪雨、日照不足等)による反収や品質の低下であり、販売額の増加や労働生産性の向上を成果目標としている地区において目標未達が多かった。また、資材の高騰により、コスト低減を図ることができなかった地区もあった。 成果目標の達成率が低調な地区に対しては、原因の分析や目標達成への推進体制等について検討・整備させるとともに、早期の成果目標達成に向けて引き続き指導を行っていく。	・成果目標達成率90%未満の地区について、未達となった主な原因は、長雨や高温等の天候不順による生産量の減少や品質低下のほか、高齢化による離農や労働力不足による作付面積の減少、資材費高騰によるコスト増等があった。 ・次年度以降に成果目標の達成が見込まれる地区もあるが、成果目標の達成率が低調な地区に対しては、個々の未達要因を精査し、早期の成果目標達成に向けて的確な改善指導を行うよう、北海道に対して指導していく。

※小数点第1位まで記載する

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【北海道農政事務所】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R4)	事業実施後 (目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導 の判断理由	
								実績値			
北海道	芽室	芽室町農業再生協議会	5	てん菜、ばれいしよ、豆類、小麦、(てん菜、ばれいしよ、豆類)	②基幹作業の外部化又は共同化の割合を10ポイント以上の増加 (畑輪作確立枠)	5.27% (R1)	16.10%	13.73%	78.1%	適期作業のために個人の都合で収穫を実施するなど、共同化作業を待たずに働いてしまう生産者がいたものの、産地として外部化・共同化に取り組んでる苗の指導・意識付けを行っていることであり、課題解決に向けた取組を進めていることから、目標達成を見込む。	
北海道	幕別町札内	幕別町農業再生協議会	4	小麦、小豆	⑥労働生産性の10%以上の向上	17,976.42円/時間 (H26~H30の5中3)	19,799.19円/時間	19,090.25円/時間 (補正後)	60.6%	小麦は引き続き効率的な運用に努めさせることで、目標達成を見込む。小豆は引き続き作付面積拡大に向けた取組に努めることで、目標達成を見込む。	
北海道	拓実	置戸町地域農業再生協議会	2	小麦、馬鈴しょ、てん菜、スイートコーン、白花生	②-a10a当たり販売額の10%以上の増加	42,764円/10a (R1)	99,380円/10a	72,076円/10a (補正後)	53.3%	目標は達成できていないが、機械の導入で各作物の効率化が図られ、作付面積は増加したことにより、選別化を妨げている。生産量も増加傾向であることから、目標の達成が見込まれる。	
北海道	美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、剣淵町	美瑛町農業再生協議会	4	小麦種子、豆類種子	①-a集出荷コストの10%以上の削減	44,729円/t (R1)	34,558円/t	41,645円/t	30.3%	昨今の資材高騰で生産コストの削減が難しい情勢だが目標達成できるような指導していく。	
北海道	知内町、木古内町、建川地区及び中野地区	知内町農業再生協議会	4	施設野菜 (ほうれん草)	⑥労働生産性の10%以上の向上	3,175円/時間 (H30)	3,586円/時間	3,296円/時間 (補正後)	29.4%	現在、地域協議会等で行っている薬剤対策の状況を確認し、必要に応じて指導、助言をしていく。	
北海道	伊達 (大滝区除く)	伊達市地域農業再生協議会	1	トマト	③契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること	23.59% (R1)	57.18%	31.9%	24.7%	施設整備が工事業業の見直しもあり1年遅れたことから、計画していた事業効果ほど契約取引が増加しなかった。次年度は市の補助会によるトマトの作付面積拡大が見込まれており、契約取引量の大幅な増加が期待できる。	
北海道	網走市	網走市農業再生協議会	4	てん菜、馬鈴しょ、豆類、麦類(豆類)	④需要が見込まれる品種への10%以上の転換 (畑輪作確立枠)	283.17ha 56.2% (R1)	390ha 66.4%	432ha	56.9%	6.9%	目標を達成できなかったものの、機械の導入により、小豆の作付面積は増加している。小豆の面積については増加傾向であるため、目標の達成は可能と考える。
北海道	様似・浦河	様似町農業再生協議会	2	夏秋いちご	②-a10a当たり販売額の10%以上の増加	7,171,069円/10a(H30)	7,917,658円/10a	7,022,095円/10a (補正後)	-19.50%	浦河町で離農が令和2年度と比較して7件発生し、作付面積及び生産量が低下した。引き続き普及センターによる指導と栽培マニュアルによる既存農業者の生産量及び良品割合を安定させるよう努め、新規就農者の定着に対応していきたい。	
北海道	檜山南部	厚沢部町地域農業再生協議会	3	てん菜	⑥労働生産性の10%以上の向上	37,486円/時間 (H27~R1の5中3)	41,822円/時間	36,642円/時間	-19.5%	災害による影響こそ見られるものの、その他は計画どおり推移しており、来年度の目標達成が見込まれる。	
北海道	清里町	清里町地域農業再生協議会	2	小麦、馬鈴しょ、てん菜	②-a産地平均所得額の10%以上の増加	△28,977円/10a (H29)	△25,003円/10a	△30,474円/10a (補正後)	-37.7%	10a当たり販売額は、目標値70,139円を12,805円上回る。82,944円となった一方、生産コストは、機械導入による労働時間の削減効果が見込まれたものの、それ以上に、資材高騰の影響を受け上昇したため、目標未達成となっている。	
北海道	平取・日高 (平賀地区)	平取町農業協議会	2	トマト	⑥労働生産性の10%以上の向上	4,029円/時間 (H26~H30の5中3)	4,496円/時間	3,824.5円/時間 (補正後)	-43.8%	昨年までは目標達成見込み生産量があった。令和4年度では主に天候不順による生育不良が発生したため、過去に収量が落ちた。令和5年度は天候が良く推移しており、例年より収量が見込まれる。	
北海道	大空町 東藻琴	大空町農業再生協議会	5	てん菜、馬鈴しょ、豆類、麦類(豆類)	④需要が見込まれる品種への10%以上の転換 (畑輪作確立枠)	73.27ha 42.42% (R1)	112ha 53.33%	61.18ha	34.68%	-70.9%	目標については左記の理由により、達成することはできなかったが現状より豆類を増加傾向にある。目標の達成に向け、生産者への作付を推進するほか、機械が導入されたことと、てん菜の情勢により豆類の作付拡大が見込まれる。
北海道	本別地区	本別町農業再生協議会	1	小麦	②-a10a当たり販売額の10%以上の増加	30,870円/10a (R1)	67,200円/10a	0円/10a	-84.9%	コロナ前後のスベルト小麦に対する市場ニーズの変化や、気象災害による問題等により目標は達成されなかったが、スベルト小麦生産の先進地である欧州への栽培技術の視察検討や品種変更など、栽培技術の改善に取り組んでいることから、目標達成を見込む。	
北海道	壮瞥町一円	壮瞥町地域農業再生協議会	1	ブロッコリー	②-a10a当たり販売額の10%以上の増加	195,261円/10a (H30)	262,325円/10a	112,118円/10a (補正後)	-124.0%	面積については年々着実に増加している。しかし、生産量については、天候不順の影響を受け反収が伸びなかった。成果目標達成に向けた取組が適切に実施されるよう指導していく。	
北海道	広尾	広尾町農業再生協議会	1	てん菜	②-a10a当たり販売額の6%以上の増加	58,630円/10a (R1)	62,197円/10a	47,169円/10a	-321.3%	安定生産に向けて気象条件に対応した栽培指導(気象予測による柔軟な防除等の実施等)を続けていくことで目標の達成を見込む。	

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。
2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。